

たけだ



QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

たけだ通信

TAKEDA [No.104] 平成26年4月1日発行



April 2014 No. 104

医療法人 財団 康生会

地域医療支援病院・救急告示病院・臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院

武田病院 ☆

〒600-8558 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町841-5(JR京都駅前)
TEL.075-361-1351 FAX.075-361-7602

人間ドック健診施設機能評価認定
武田病院健診センター

〒600-8216 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町608 日本生命京都三哲ビル3F
TEL.075-365-0825 FAX.075-361-3829

武田病院画像診断センター

〒600-8558 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町841-5(JR京都駅前)
TEL.075-361-1680 FAX.075-361-1682 フリーコール 007-77-5588

北山武田病院

〒603-8053 京都市北区上賀茂若ヶ垣内町99番地(地下鉄北山駅)
TEL.075-721-1612 FAX.075-701-7399

山科武田ラクトクリニック
山科武田ラクト健診センター 人間ドック健診施設機能評価認定

〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町92番地 山科駅前ラクト山科C棟3階
TEL.075-581-0910(山科武田ラクトクリニック) TEL.075-581-6696(山科武田ラクト健診センター)
FAX.075-581-0991

梶井町放射線診断科クリニック

〒602-0841 京都市上京区御車道通清和院口上る梶井町457番地
TEL.075-950-5751 FAX.075-950-5753

京都駅前武田透析クリニック

〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東堀小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル6階
TEL.075-351-9200 FAX.075-351-9201

康生会クリニック

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下る油小路町277
TEL.075-354-7227 FAX.075-354-7228

柳馬場武田クリニック

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F
TEL.075-213-2216 FAX.075-213-2217

京都壬生苑診療所

〒604-8821 京都市中京区壬生郷ノ宮町31番地
TEL.075-823-3371 FAX.075-822-6550

柳馬場訪問看護ステーション ☆

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F
TEL.075-212-7266 FAX.075-212-7321

たけだホームヘルプサービス ☆

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町407番地 シティハウス407 1F
TEL.075-211-5999 FAX.075-213-2217

京都市 下京・中部 地域包括支援センター

高齢サポート・下京中部 ☆
〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚棚下る油小路町288番地 井筒屋川ビル1階
TEL.075-361-2141 FAX.075-361-2145

医療法人 財団 医道会

救急告示病院・開放型病院・回復期リハビリテーション病棟・日本医療機能評価機構認定病院

十条武田リハビリテーション病院

〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32(十条新千本角)
TEL.075-671-2351 FAX.075-671-2961

十条訪問看護ステーション ☆

〒601-8107 京都市南区上烏羽南唐戸町7番地 Kビル1階 表・中号
TEL.075-671-2415 FAX.075-671-2435

緩和ケア病棟・日本医療機能評価機構認定病院

稻荷山武田病院

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町27番地(京阪鳥羽街道駅)
TEL.075-541-3371 FAX.075-532-5115

医療法人 財団 宮津康生会

宮津武田病院

〒626-0041 京都府宮津市鶴背2059番地の1(北近畿タンゴ鉄道宮津駅)
TEL.0772-22-2157 FAX.0772-22-1125

救急告示病院・臨床研修指定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・人間ドック健診施設機能評価認定

宇治武田病院

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-26(JR宇治駅前)
TEL.0774-25-2500 FAX.0774-25-2353

指定介護療養型医療施設

木津屋橋武田病院 ※

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚棚下る油小路町293番地
TEL.075-343-1766 FAX.075-343-5739

たけだ診療所 (免疫・遺伝子クリニック)

財団法人レイ・バスタード医学研究センター 関連施設
〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東堀小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル1階
TEL.075-351-8282 FAX.075-351-8448

医療法人 医仁会

救急告示病院・臨床研修指定病院・卒後臨床研修評価機構認定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・京都府がん診療推進病院

医仁会武田総合病院

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町 28-1 (地下鉄石田駅・外環状線沿)
TEL.075-572-6331 FAX.075-571-8877

附属施設/医仁会武田総合病院リハビリセンター

〒601-1439 京都市伏見区石田森南町27-1
TEL.075-572-5139 FAX.075-571-8877

疾病予防センター

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1
TEL.075-572-6365

武田クリニック [血液透析センター]

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町33-6
TEL.075-572-6984 FAX.075-572-6218

指定管理者 医療法人 医仁会 救急告示病院

精華町国民健康保険病院

〒619-0241 京都府相楽郡精華町祝園砂子田7番地(JR祝園駅・近鉄新祝園駅前)
TEL.0774-94-2076 FAX.0774-93-2818

老人保健施設 白寿 ※☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地
TEL.075-572-8207 FAX.075-572-8726

京都市下京区地域介護予防推進センター

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚棚下る油小路町288番地 井筒屋川ビル1階
TEL.075-361-1060 FAX.075-361-0901

老人保健施設 いわやの里 ※☆

〒607-8177 京都市山科区大宅古海道町52
TEL.075-572-1811 FAX.075-572-1880

指定管理者 医療法人 医仁会

辰巳診療所

〒601-1345 京都市伏見区醍醐外山街道町21
TEL.075-571-8545 FAX.075-571-8555

おもいやり訪問看護ステーション ☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地
TEL.075-574-1621 FAX.075-574-1622

京都市 醍醐・南部 地域包括支援センター

高齢サポート・醍醐南部 ☆
〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地
TEL.075-572-6572 FAX.075-575-4738

社会福祉法人 青谷福祉会

軽費老人ホーム ヴィラ城陽 ※☆

訪問介護ステーション ヴィラ城陽 ※☆
〒610-0114 京都府城陽市市辺萱原1番地
TEL.0774-55-1875 FAX.0774-54-3321

城陽市立東部デイサービスセンター ※☆

〒610-0102 京都府城陽市久世芝ヶ原6番地の2
TEL.0774-56-2530 FAX.0774-56-2531

特別養護老人ホーム ヴィラ山科 ※☆

ヴィラ山科老人デイサービスセンター ※☆
〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1
TEL.075-572-6677 FAX.075-572-6866

訪問介護ステーション ヴィラ山科 ※☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1
TEL.075-575-5252 FAX.075-575-5055

京都市 大宅 地域包括支援センター

高齢サポート・大宅 ※☆
〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1
TEL.075-572-6660 FAX.075-575-5055

加茂町高齢者福祉センター

特別養護老人ホーム 加茂の里 ※☆

ケアハウス あじさい ※☆
〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)
TEL.0774-76-7607 FAX.0774-76-7802

デイサービスセンター 加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)
TEL.FAX.0774-76-8294

加茂町在宅介護支援センター・加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)
TEL.FAX.0774-76-8294

訪問看護ステーション あじさい ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)
TEL.0774-76-0234 FAX.0774-76-7802

訪問介護ステーション 加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目2番地1 ユニ加茂老番館(JR加茂駅前)
TEL.0774-76-0233 FAX.0774-76-8461

特別養護老人ホーム ヴィラ稻荷山 ※☆

ヴィラ稻荷山デイサービスセンター ※☆
〒612-0801 京都府伏見区深草正覚町23番
TEL.075-561-6550 FAX.075-561-6552

三条小川デイサービスセンター ☆

〒604-8246 京都市中京区小川通三条下ル狸々町124
TEL.075-254-1106 FAX.075-254-1107

社会福祉法人 悠仁福祉会

特別養護老人ホーム ヴィラ鳳凰 ※☆

ケアハウスやまぶき ※☆
デイサービスセンターヴィラ鳳凰 ※☆
〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-35
TEL.0774-25-2577 FAX.0774-25-2788

※京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設 ☆ISO9001：2008認証

QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

たけだ通信

TAKEDA [NO.104] 平成26年4月1日発行



武田病院グループでは、環境保全活動に取り組み、CO₂の発生を削減できる水なし印刷及び環境にやさしい植物油インキを採用しています。

病院や診療所など医療機関が提供する医療行為や薬の公定価格は、細部に至るまで「診療報酬」として定められています。これは2年ごとに価格が改定されるもので、事実上、国がめざす医療のあり方を実現するための誘導策として直接的・間接的に推し進められています。

今回の改定率は全体ではプラス1.0%で、一見すると手厚くなったような印象がありますが、診療報酬は消費税込みという前提になっているため、消費税増税分を除くと実質の改定率は1.26%のマイナスとなります。

医科と呼ばれる病院や診療所の報酬はわずかのプラスとなりましたが、依然として経営が厳しい状況にあることは変わりません。

とりわけ今回の改定では、「高度急性期」と呼ばれる、基幹病院を絞り込み、そこから患者さんを受けて回復をお手伝いしたり、在宅に戻していく機能の強化に絞られた内容となっています。結果

もちろん、中長期にわたり制度を維持するためには、このようにロングスパンの見地に立つことも重要でしょう。しかしながら、現場の医療に目を移すと、これが必ずしも適合するとは言えないのです。

例えば採算性が少ない医療サービスであっても、対象となる方がいらつしやる以上、それは必要な医療と言って過言ではありません。様々な疾患に対してリアルに対応できてこそ、地域をこ支援する医療機関として信頼を戴けるのではないのでしょうか。

保険財政の維持に向け、可能な範囲で高率を求め、カットできる医療費については抑制を図るのは当然の努めとして実行しております。それ以上に、求められる医療については患者さんの声を代弁し、必要性を訴えるなど、地域を守る医療機関としての責務を果たしていく考

たけだトピックス①

実質マイナスとなった2014診療報酬改定 地域の医療を守ることを最優先に 政策への対応・医療の質の向上をめざす

として、ふるいで落とされ、方向性を変える医療機関が多く出てくることででしょう。

えです。地域の皆さんの信頼に応え、今後も努力してまいります。



武田病院グループ 理事長 武田 隆久

- 実質マイナスとなった2014診療報酬改定 01
地域の医療を守ることを最優先に
政策への対応・医療の質の向上をめざす / 武田 隆久
- 「武田病院グループ総合窓口」を開設 02
4健診センターへのお問い合わせを一元化
ワンストップサービスで利便性が向上
- つれづれに / 武田 道子 04
- 武田病院グループの平成26年度辞令交付式 05
地域住民から信頼される医療人として活躍を
武田隆男会長らが新採用者に祝辞
- たけだインフォメーションニュース 06
- ケアアドバイス 12
京都認知症総合対策推進計画
京都式オレンジプランについて② / 市川 努
- くすりのお話 13
インペアードパフォーマンスって知っていますか? / 酒井 果林
- ワンポイントフィットネス 13
認知機能の低下を防ぐ体操 / 濱田 友里
- ナーシングメッセージ 14
認定看護師の活動拡大を目指して / 吉田 乃里子
- 京の医史跡を訪ねて 16

たけだ

たけだ通信 No.104
April 2014



今号の表紙
「中千本」

基本方針

Bridge The Gaps
「ブリッジ・ザ・ギャップス(橋をかけよう)」
武田病院グループは
患者さんとの間に思いやりと信頼のかけ橋を
地域社会との間に信義と信頼のかけ橋を
すべての職員の間で心と心をつなぐ
信頼のかけ橋をつくりあげる
努力を重ねます

患者さんの権利の尊重
私たちは
患者さんの意見・立場を大切にし
インフォームド・コンセントを
尊重します

地球にやさしい環境づくり
武田病院グループは地球環境の保全を
保健・医療・福祉活動
及び関連活動で常に考慮し
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ
豊かな社会環境の実現に貢献します

ISO14001自己宣言書

武田病院グループの環境マネジメントシステムがISO14001の規格に適合していることについて自らの責任で決定し、ここに自己宣言します。
武田病院グループは、地球環境保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に意識し、
グループの果たすべき重要な課題として捉え、今後も尚一層積極的に環境活動を推進します。
08.12.15 武田病院グループ 理事長 武田 隆久

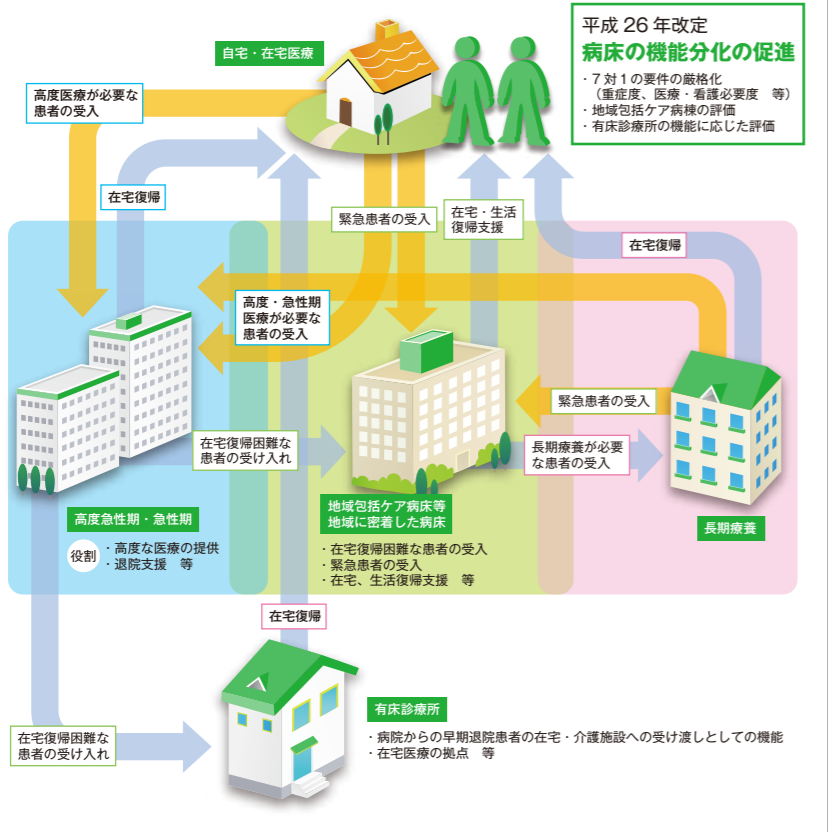
環境方針

武田病院グループは地球環境の保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に考慮し、
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。
また、関連する環境の法規、法令を遵守するとともに
関連団体における環境理念等を尊重し、自然災害等に対する安全、安心を心がけ、
組織的、継続的な改善と汚染予防、循環型社会の形成を推進します。

- ①省資源・省エネルギーの推進
保健・医療・福祉活動及び関連活動における省資源・再生可能なエネルギーの利用、電気・水等のエネルギー供給の複合化を図るとともに省エネルギーを推進する。
- ②廃棄物の3R(減らす、再利用、再資源化)の推進
保健・医療・福祉活動及び関連活動によって発生する廃棄物の3Rを推進する。購入の段階で環境保全に貢献できる再利用可能な材料・商品等を積極的に取り入れる。また、医療廃棄物の処理・廃棄については、厳重に管理する。
- ③安全性・快適性の推進
自然災害に対応した地域との連携、施設機能の継続に向けた改善を図り、医療機器、薬品、食料の備蓄等を含む安全性と汚染予防の確保及び施設環境の快適性を推進する。
- ④環境広報活動の推進
環境方針・目的の職員への周知徹底及び利害関係者等とのコミュニケーションを目的とした環境広報活動を推進する。

環境方針書No.2 11.08.01 武田病院グループ 理事長 武田 隆久

入院医療について<病床の機能分化>



平成26年改定
病床の機能分化の促進
・7対1の要件の厳格化
(重症度、医療・看護必要度等)
・地域包括ケア病床の評価
・有床診療所の機能に応じた評価

ただトピックス②

「武田病院グループ総合窓口」を開設 4健診センターへのお問い合わせを二元化 ワンストップサービスで利便性が向上

このたび武田病院グループでは、受診者さんの利便性向上にむけ「武田病院グループ総合窓口」を開設しました。武田病院健診センター・山科武田ラクト健診センター・医仁会武田総合病院健康管理センター・宇治武田病院健診センターの4施設の窓口を1つにし、さらに専門のスタッフを置くことで、より詳しく分かり易いご説明や対応、さらにスムーズな当グループ施設への受診予約につなげていく考えです。皆さんの不安解消に向け、これまで以上に常に丁寧な対応を行っていきます。

「健康診断って何がわかるの？」
「結果を詳しく教えて欲しい」
疑問や不安にお応えします

TVにおける医療・健康番組のブームやインターネットの情報氾濫で、不安を感じる一般の方が増えています。当グループにも、「健康診断では何が分かるの?」「TVの番組で紹介されていて不安になっただ」など多くのお問い合わせが寄せられています。いたずらに不安を煽られているケースも少なくありませんが、様々な検査を定期的に行うことで、ご自身の健康不安を取り除けるなど、適切なアドバイスを実施しております。

生活面でのアドバイスをしています。例えば、「自覚症状はないけれど、この検査で異常が出ている。どうしたらいいのですか?」などのお問い合わせについて、当該の検査の目的や、関連する項目の説明をさせていただいた上で、どのような疾患の可能性があるのか、また、何科を受診したら良いのかなどをアドバイスしています。

ケースによっては、「精密検査」や「要治療」という結果になり、不安に感じられた受診者さんから、「診断結果用紙を見ながら、直接、説明を聞きたい」という希望をいただくことも少なくありません。

武田病院グループ総合窓口には相談ブースを設置しており、こうした希望に

対し保健師が直接、対応をしています。検査や疾患の説明だけでなく、受診者さんの生活面も含めたお話を聞き取った上で、総合的なアドバイスをさせていただくと、不安が和らぐケースが多いです。

京都駅前の便利な立地ですので、是非、お気軽にお問い合わせ下さい。



「検査の予約がいつばいだった」
こうした場合でも大丈夫
他の健診施設の予約を行います

当グループの健診施設をご利用される方は、京都市内だけでなく、滋賀県や大阪府から受診される方も多くおられます。「何かあっても武田病院グループが対応してくれる」との声をよくいただいています。

健診の希望日によっては、いつばいで予約がとれないケースもありますが、そうした場合でも、グループ健診施設で予約することも可能です。

検査後、必要があれば当グループが責任を持つ、治療対応を致します。

他の病院・医院を希望される場合にも、武田病院グループ総合窓口が当該医療機関の診療予約に対応します。

受診者さんが煩わしい思いをすることのないよう、ワンストップサービスで心のこもった対応をさせていただきますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



医仁会武田総合病院 健康管理センター



実施健診内容

- 人間ドック (二日コース・一日コース)
- 生活習慣病予防健診 (成人病健診)
- 定期健康診断
- 雇入時健康診断
- その他オプション検査

宇治武田病院 健診センター



実施健診内容

- 人間ドック (二日コース・一日コース)
- 生活習慣病予防健診 (成人病健診)
- 定期健康診断
- 雇入時健康診断
- 特殊健康診断
- 脳ドック
- 肺ドック (人間ドックオプション)
- その他オプション検査 (マンモグラフィ・骨密度測定検査などが可能です。)

山科武田ラクト健診センター



実施健診内容

- 人間ドック (二日コース・一日コース)
- 生活習慣病予防健診 (成人病健診)
- 協会けんぽ生活習慣病予防健診
- 定期健康診断
- 雇入時健康診断
- 特殊健康診断
- 脳ドック
- その他オプション検査

武田病院 健診センター



実施健診内容

- 人間ドック (二日コース・一日コース)
- 生活習慣病予防健診 (成人病健診)
- 協会けんぽ生活習慣病予防健診
- 定期健康診断
- 雇入時健康診断
- 出張健康診断
- 脳ドック
- 肺ドック (人間ドックオプション)
- 内臓脂肪ドック (人間ドックオプション)
- その他オプション検査



武田隆久理事長、武田隆司専務理事、武田道子副理事長から医仁会武田総合病院に赴任する看護師ら47人など、計149人への辞令交付に続いて、9病院長や看護部、事務幹部職員が列席する中、武田隆男会長が祝辞を述べました。

武田会長は、「皆さんは、大勢の中から、特に選ばれた優秀な方々です。皆さんが大きく成長して、医療の場で大いに活躍されることを期待しています。21世紀になって、先進的医療の進歩によって病院医療の仕組みや、医療そのものについてのあり方の再構築が迫られています。このような医療の変革に対応できる人材になれるよう、一日も早く成長してくれることを願っています。そして、地域の人々から敬意をもって接してもらえようという人間になっていただ

武田病院グループの平成26年度辞令交付式 地域住民から信頼される医療人として活躍を 武田隆男会長らが新採用者に祝辞

京都府民の健康増進に尽くすため、医療職業人としてスタートする武田病院グループ平成26年度新採用者の辞令交付式が3月25日、京都市下京区のキャンパスプラザ京都で行われました。武田病院グループ9病院と、介護福祉関連施設などへ配属される149人に1人ずつ辞令が手渡され、それぞれの職場での活躍を誓いました。

つれづれに

武田病院グループ 副理事長
康生会武田病院 名誉院長
社会福祉法人 青谷福祉会 理事長

武田 道子



桜花爛漫、天地万物が清新の気に満ちあふれる季節がやってまいりました。日本の象徴桜の花は、昼間と夜では全くその美しさが変わります。昼間はやさしく風になびいて居りますが、夜になりますとライトに照らされて、見る姿は濃艶です。

小さな花をつけた細枝が垂れ下がる糸桜は、うす紅色の濃淡が幾重にも重なり合って、紅すだれと云ったところでしょうか。

今年の冬は特に寒い日が多く、寒のもどりが度々ありました。寒い冬の

時を過ごした万物は、いつせいに跳びはねているように感じます。ハルと云う言葉を聞くだけでも、心が浮きうきしてまいります。春と云う文字には不思議な文字力があるように感じられます。暦の上ではもう春も終わりに近づき、春から夏へと春色が褪せて爽快な夏の気が立ち始めて居ります。

最近では田植えもはやくなり、もう生命の源、早苗を植えて居る風景をテレビで見ました。

朝夕は風が冷たいと云って居りまして、街路樹の枝先には芽吹きが順番を待つて居ります。

さて、現実にかえりますと、消費税が8%になり、日常生活にも響いてまいりました。我々医療界は、相変わらずきびしい状態にあります。税金も物価も上がります。しかし、医療費は微妙に上がるように見せかけて、実際はマインス改定となりました。

高齢化が進む中、医療費は多くなるのは当然です。

介護の世界では要支援では今迄と違って、殆んど支援は受けられなくなり、要介護3以上でなければ施設利用もむづかしくなりました。



こんな中でも私達のグループでは地域の先生方に信頼され、地元の皆さんに選ばれる医療、介護に務めてまいります。ゆりかごから、墓場までのお世話をさせて頂ける幸せに感謝し、思いやりの心を大切に、人の手のぬくもりを感じていただけるような医療人でありたいと存じます。

常に前進し、後ずさりは絶対にならないように心掛けてまいります。でも時々立ち止まり、後ろにさがって新鮮な目で物事を見るのも大切だと思っ居ります。

きたいと願っています。医療技術の向上とともに、21世紀は『心の世紀』でもあります。一人一人の患者さんに対して、愛や仁、慈愛や思いやりのある温かく優しい心と、気配りの心をもって患者さんに接することが大切です。そういう心構えを層深めるために、多くの本を読み、文学的な、質の良い映画や演劇を観ることや、茶道、華道、伝統的芸術にも接して、教養と人格を高めて、世の中が求めている人間性豊かな素晴らしい医療人になるように心がけていただきます」と、新入職員一人一人の心に届くように語りかけました。



また、武田隆司専務理事も、「希望に満ちた若い皆さんを武田病院グループの仲間として迎え入れることができ、

心より嬉しく思います。学生時代と一般社会での違いについて、例えば学生時代なら、間違っ10点、遅刻は20点と点数が引かれていく社会だったでしょう。実社会では、自転車転んで膝をすりむいて泣きたいような気分になっても、気が付くといつのまにか乗れるようになっていくなど、様々なことをこういつた方法で覚えていくものです。つまり、小さな失敗を繰り返して経験とし、それをテクニクとして変えていくという社会です。決して失敗を恐れずに前に進む姿勢を貫いていただきたいと思えます。その失敗をフォローしてくれる人が周りにいますので、常にその方々に感謝の気持ちを持たないようにはしてください。もう一つ、悪口は言わないよう、書き込みもしないようにはしましょう。人徳が疑われます。社会人として、それ以上に人間として大きく成長されることを期待しています」と歓迎の辞を述べました。



医療法人 医仁会武田総合病院

がん患者サロン「醍醐さくらの会」によるバレンタインコンサート

当院で2月14日、がん患者サロン「醍醐さくらの会」のイベントとしてバレンタインコンサートを開催しました。あいにくの大雪にも関わらず、これまでで最も多い41名の方が参加。演奏や合唱で楽しいひとときを過ごしました。

第1部は、病院職員によるピアノとハンドフルートの合奏です。プロ顔負けの演奏に会場が大きく沸きました。演奏の後は参加者全員で『ふるさと』を合唱しました。

第2部は、「座・三味線」によるステージです。三味線の演奏だけでなく歌や踊りも披露していただきました。三味線演奏の山本博康さん、司会の田中昌男さんや、歌を担当された方はみな、当院の患者さんです。『花笠音頭』や『郡上ほ

んぼり』、『さくらさくら』など、懐かしい楽曲を沢山披露され、参加者も手拍子で口ずさんでいる方もおられました。

また、男はつらいよシリーズの主題歌を、フーテンの寅さんの衣装で熱唱され、その完成度の高さに皆が驚かされました。

最後は参加者が輪になっての炭坑節です。「掘って掘ってまた掘って、かついでかついで、ながめてながめて、押して押して…」と、歌い踊りました。

醍醐さくらの会は、地域と密着した医療者とがん患者さんご家族の集う事ができるがんサロンです。色々な思いを語ったり、楽しく過ごす場として利用して下さい。



卒後臨床研修機能評価の認定を受けました

医仁会武田総合病院は特定非営利法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を2013年11月15日に受審。2014年1月1日付けで“機構の定める認定基準を達成していることを証す”との認定証をいただきました。

審査では、「研修病院として長い歴史があり、継続的に病院全体で研修医の育成に力を入れてきたこと、研修医は病院全体で守られながら育てられている。症例が豊富で研修医の満足度が高く、特にプログラム責任者と研修医との信頼関係の中で何でも相談できる体制がある」などの評価を受けました。

この一方で指摘されたポイントについては今後改善し、さらに充実した研修を提供していきます。

※卒後臨床研修機能評価＝臨床研修病院における研修プログラムや研修状況の評価を行い、研修プログラムの改善、よい医師の養成に寄与することを目的とした第三者評価



医療法人 財団 康生会 武田病院

ハンドベルの空間

毎年恒例のクリスマス会は、看護部副主任会が主体となって運営していましたが、2013年度からサービス向上委員会が主催することになり、師長会有志と部長室秘書の10名がハンドベル演奏で参加しました。

2週間前から殆ど毎日練習をし、最初は久しぶりに見る音符が読めなかったり、リズムがとれなかったり、1日練習しないと出来ていたことが出来なくなっていたり、音が外れては笑い、リズムが外れずには笑い、常に笑いの絶えない練習時間でした。本番当日、少し緊張はありましたが、無事に演奏を終えることができました。拙い演奏でしたが患者さんに笑顔で聞いて頂けたことを嬉しく思いました。

12月26日には青谷福祉会理事長のお声掛けで三条小川デイサービスセンターにケアリングクラウンのトンちゃん一座と一緒に訪問させて頂きました。利用者の方々が音楽に合わせて体を揺らし、手を叩いて一緒に歌って下さったことに感動しました。職員の方も利用者の方も笑顔で見守ってくれている、そんな笑顔の空間でした。

あの空間を再び体感したいと思い、3月13日に城陽市立東部デイサービスセンターにて演奏を行い、新曲を発表いたしました。レパートリーを増やし、2014年のクリスマス会ではもっと患者さんに笑顔になって頂けるような演奏をしたいと思い、楽しみながら練習をしています。



青谷福祉会理事長を囲んで



三条小川デイサービスセンターでの様子

QMS(品質マネジメントシステム)ISO9001サーベイランスを受審しました

2月26、27日に、適用規格JISQ9001:2008でのサーベイランスが当院で行われ、特に次の事項について高い審査評価を戴きました。今後も品質方針である「安全・信頼・納得

の良質な医療サービスを提供する」に基づき、患者さんの満足度を高めるための努力を続けていきます。

【審査におきましては、特に次の事項について高い評価をうけました。】

- ・マネジメントレビューの指示事項に対し、確実に改善に取組まれている。
- ・データを収集し、分析し、課題を発見し、改善に結びつけ、成果をあげる、といった一連のマネジメント活動が高いレベルで実現されている。
- ・SCU病棟では、定期的な教育訓練の計画とは別に、平成25年病棟勉強会として「脳解剖生理」「脳梗塞」「t-PA静注療法」「急変時のシミュレーション」等のテーマで19回開催し、看護師の力量向上を推進している。
- ・消化器センターでは「診療基本方針」としてa, クリティカルパス、b, 消化器センター作成診療指針、c, 医師会ガイドライン、d, その他の4群に分類し、診療手順の標準化を推進している。また、「緊急内視鏡検査・処置および緊急穿刺処置、連絡手順書」等、多数の手順書又はガイドラインに該当する文書を作成し、可視化を進めている。
- ・消化器カンファレンスが週1回確実に開催され、手術の適用、術前・術後の状況等は必ず対象となり、その記録も明確となっている。
- ・栄養科では患者食食事調査が定期的に行われ、直近では「平成25年11月度患者食食事調査」を報告書としてまとめている。客観的なデータを示し、その上で「温度、残食、配膳時間、喫食量、満足度、総評」等の事項について、詳細な考察が行われている。また、これらの結果を基に蓋付きの食器に暫時、変更する等の改善も行われている。

医療法人 財団 医道会 十条武田リハビリテーション病院

リウマチセンターを開設しました

十条武田リハビリテーション病院では、昨年 11 月リウマチ科部長に益田郁子先生を迎え、診療体制の充実を図るとともに『リウマチセンター』を開設しました。

同センターでは、リウマチ疾患に対し内科・外科の両面からアプローチする診療体制を敷き、さらに看護師・理学療法士・薬剤師・MSWが患者さんをサポートするチーム医療を提供しています。

下記、いずれの受診日でも、患者さんにご満足いただける診療を提供いたしますので、お気軽にご来院ください。



十条武田リハビリテーション病院 リウマチ科 診療担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前診	駒野医長 (予約)	益田部長 真多副院長 (整形外科)		1、3、5週のみ 大村医師(予約) 真多副院長 (整形外科)	益田部長	偶数週 大村医師 (予約)
午後診			益田部長	2、4週のみ 駒野医長(予約)		

「前と同じ生活にもどる」を目標にリウマチ治療に取り組みましょう

リウマチは身近な難病です。個人差はありますが、治療をしなければ関節は炎症によって破壊され、日常生活が不自由になり、寝たきりになる可能性もあります。しかしリウマチ治療は、この 10 年でかなり進歩してきました。抗リウマチ剤や生物学的製剤の登場で炎症をほぼ消せるようになり、その結果、痛みや腫れだけでなく、関節破壊の進行を止められるようになってきました。関節の腫れがない、痛みがない、深い臨床的寛解が続けば場合によっては骨の再生(リモデリング)が起こり壊れた関節が修復することすらあるのです。

薬を使いながらも、発病前と同じ生活ができることを「治る」というなら、リウマチは「治る」ことが可能になってきたのです。当院では、リウマチを「治す」ことを目標に、患者さんと一緒に治療に取り組んでいます。



リウマチ科 部長
益田 郁子

第1回地域医療連携カンファレンスを開催しました

京都市南部地域の開業医の先生と、当院の医師や医療従事者が、最新の医療情報を共有、連携と交流を深めるため、当院では初めての「第1回地域医療連携カンファレンス」(下京西部・東部医師会、バイエル薬品株式会社共催、十条武田リハビリテーション病院後援)を2月15日、京都市下京区のリーガロイヤルホテル京都で開催しました。

当日は、下京西部・東部医師会の開業医の先生ら 23 名が参加。当院からは4名の医師が症例等を発表し、当院の特徴を知っていただくと共に意見交換し、交流を深めました。地域の先生からは、「人工関節手術やリウマチ診療について認識を深める場になった」とお言葉をいただきました。

さらに特別講演として、久留米大学医学部糖尿病性血管合併症病態・治療学講座教授の山岸昌一先生をお招きし、



『糖尿病における積極的脂質管理の意義～AGEsを標的とした新しい考え方』と題しお話しいただきました。

十条武田リハビリテーション病院
若林 昭 院長



宇治武田病院

日本医療機能評価機構の病院機能評価(一般病院2 <3rdG:Ver.1.0>)更新審査を受審し認定されました



当院は、昨年 11 月 13、14 日、日本医療機能評価機構の病院機能評価(一般病院 2 <3rdG:Ver.1.0>)更新審査を受審し認定されました。

当日は医師、看護、事務の 3 名の審査員が来院され、各現場を中心に業務内容、また各部所間での業務連携の関わり方、各種書類について審査いただきました。審査員の皆様より貴重な意見や指摘を受け、当院の優れている点や改善すべき項目が具体的に示され、現状を客観的に把握することができました。

2013リラクゼーション・コンサート
美しい歌声やベルの音色を堪能

当院「サービス向上委員会」が毎年企画・開催しております「2013リラクゼーションコンサート」を昨年 12 月 6 日(金)、エントランスホールにて執り行いました。

今回は宇治市を中心に活動、活躍されてますミュージックアンサンブル「アップルパイ」さんに出演いただきました。「ディズニードレー」や「童謡」、「クラシック」などをハンドベルやト-



既に多くの職員に馴染みのある「病院機能評価」ですが、初めて受審する職員がほとんどで、今年に入り受審に向けてワーキングチームを中心に職員全体で取り組んできましたが、受審時は皆緊張の面持ちで、今回の受審は各所属長をはじめとても良い経験となりました。今後も地域医療に貢献すべく第三者評価を積極的に活用し、病院機能の客観的な評価に基づき医療の質の向上と効果的なサービス改善に努めて参ります。



ンチャイムで演奏いただき、また北原白秋作詞の「火の鳥」ではコーラスも披露いただきました。

当日は入院患者さんをはじめ外来利用者さんも含め 100 人を超える方々が集まり、ホールいっぱい響きわたった美しい歌声やベルの音色を堪能されておりました。

社会福祉法人 青谷福祉会 特別養護老人ホーム ヴィラ山科

認知症リハビリテーション事例報告会を開催しました

ヴィラ山科では、3月6日(木)に京都市東部文化会館において、医療と介護の連携を目的とした「認知症対応 地域支援推進モデル事業」(京都市委託事業)として、地域の医療・介護事業所向けに「認知症リハビリテーション事例報告会」を開催しました。

この報告会では、昨年10月より認知症の行動・心理症状に効果的なりハビリテーションを実施している事業所に事例を募り、2月に参加事業所が集まり山科医師会と検討会を行っ

た後、その成果をそれぞれの事業所から報告していただきました。運動しながら頭を使う二重課題の取り組みや、音楽療法、入所施設でのリハビリなど様々な事例を発表していただき、山科医師会の先生方からも専門的なご意見をいただきました。

今後も、山科・醍醐地域の医療と介護がスムーズに連携できるような取り組みを行っていききたいと思います。



社会福祉法人 青谷福祉会 加茂町高齢者福祉センター

地域のボランティアの方と一緒に、開かれた施設づくり

当センターでは、“地域との交流の促進”を目的に、積極的に地域のボランティアの方に来て戴いています。

2月13日は、ボランティアサークル“わかば”代表の松本氏をお招きし、華麗なマジックショーを披露して戴きました。ご覧になった利用者さんは、身を乗り出して「不思議やなあ」と、磨きぬかれた技に見入っていました。

また、2月26日は、“HANA”の皆さんによる音楽演奏会、

2月27日は“さわやかコーラス”の皆さんによるコーラスショーを開催。利用者さんは「すごく良かった」「良いものが見れた」と大好評!!

これからも、ボランティアの方の力を得ながら、地域とのつながりを大切にしていきます。



社会福祉法人 青谷福祉会 城陽市立東部デイサービスセンター

機能訓練を充実!!

「リハビリをして元気に生活したい!」「東部さんでリハビリをしたい!」と昨年のアンケート(満足度調査)で多くのご意見をいただきました。

皆さんがいつまでも住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう、「機能訓練体制を充実し、残存機能の維持向上及び在宅生活機能の向上を図る」ことを事業所の目標としました。

昨年8月から、理学療法士1名、看護師4名体制で、個別での機能訓練、集団体操、年4回の体力測定を実施しています。

「東部さんに行ったら元気になるわ」と言っていただけよう、職員一同で皆さんをサポートしていきます。



医療法人 医仁会 老人保健施設 白寿

フラダンスショー・コーラス合唱と節分祭

2月18日に、ボランティアグループ(マザーグース)に来ていただき、フラダンスショー・コーラス合唱を催しました。

素敵な踊りと歌のプレゼントです。利用者さんは、懐かしい歌を口ずさみながらリズムに合わせて手拍子をとります。笑顔の絶えないひと時となりました。

2月3日は節分です。利用者さんと職員に分かれ、玉入れゲームを行ないました。



軍配は見事、利用者さんにあがり、その後は、利用者の皆さんが豆(職員)を退治し、施設に福をもたらしていただきました。

医療法人 財団 康生会 北山武田病院

美容皮膚科のご紹介

肌に、髪に、人の体には様々な年齢サインが表れます。それは、その方が経験と内面の輝きを積み重ねた誇るべき証でもあります。

しかし、いくつになっても美しくありたいと望む姿も、前向きで素敵なお手元です。当科では年齢にとられない美しさを求め、医師がお一人おひとりの肌を見つめたカウンセリングを行い、美しさを引き出すお手伝いをいたします。

シミ、シワ、たるみといった年齢サインにお悩みのかたに対する各種レーザー治療やボトックス、ヒアルロン酸注入療法、にきびやにきび跡の治療、ケミカルピーリング、脱毛も行っております。

北山武田病院美容皮膚科では、「メスを使わず、患者さんにご負担をかけない」という信念のもと、お肌の悩みをはじめ、若々しさを保つために様々なメニューをご用意し、皆様のご来院をお待ちしております。ぜひ一度ご相談下さい。



美容皮膚科 医長
岩井 謙治

医療法人 財団 宮津康生会 宮津武田病院

新たな医師のご紹介

私自身、スキーや馬術での選手活動時、及び自動車、バイクのレース出場等にて多数の負傷経験があり、患者さんの気持ちがよく分かります。未だに無理をすると痛みが出る部分があり、酷使してきた右膝等、時々あれっ、と思うような痛み経験をしている今日この頃です。

月曜日～木曜日のみの診療ですが、心を込めて診療にあたらせて頂きます。



整形外科 部長
小柳 博彦

4月に当院の皮膚科部長として就任した木崎二郎です。誰もが気軽に相談できる皮膚科をめざしています。

皮膚科では、外用薬による治療が大きな特徴となります。各種院内製剤も使用して、きめ細かな患者さんのニーズに応えられる体制をつくっていく考えです。皮膚外科についても専門性を活かし、整容的に満足の出る治療を心がけていきます。



皮膚科 部長
木崎 二郎

医療法人 財団 医道会 稲荷山武田病院

病院機能評価 機能種別版評価項目 一般病院1 <3rdG:Ver.1.0>と付加機能 緩和ケア機能評価項目 <Ver.2.0>の認定を受けました

去る2013年9月25～27日、「病院機能評価 一般病院1」と「付加機能 緩和ケア機能」を受審し、12月6日に認定を受けることができました。

今回は昨年度より新たに導入されたバージョンでの受審となり、付加機能の緩和ケア機能については、グループで初の受審ということもあり、更新審査ではありましたが、職員一同非常に緊張した中での受審となりました。

3日間に渡る大変な審査でしたが、サーバイヤーからは、

一般病院1・緩和ケア機能とも“全体として非常に熱心に努力され、よく頑張っておられます。”との高い評価を受けることができました。

今後も1つの改善ツールとして機能評価にとり組み、質を高め、より信頼される病院になれるよう職員一同取り組んでまいります。



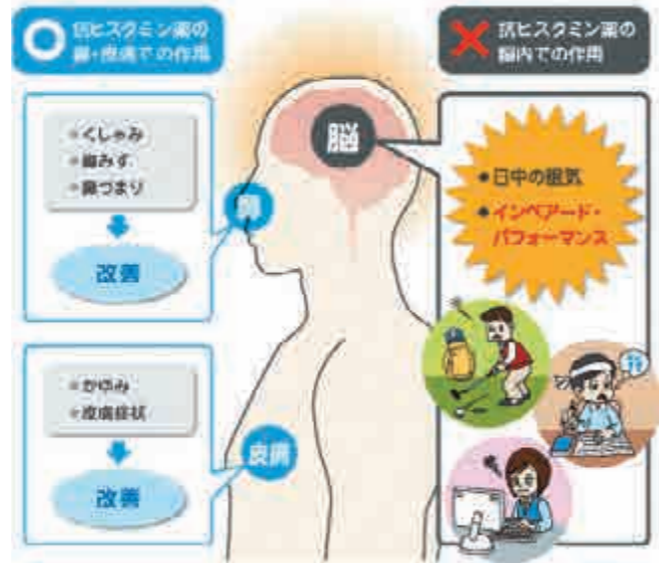
インペアード・パフォーマンスって知っていますか？

花粉症の治療薬は、抗ヒスタミン薬が中心となっています。抗ヒスタミン薬の副作用として眠気がよく知られていますが、もう一つの重要な副作用としてインペアード・パフォーマンスがあります。

インペアード・パフォーマンスとは、自覚症状の有無に関わらず、集中力や判断力、作業能率が低下してしまう状態をいいます。（*インペアード(impaired)=正常な機能が損なわれた、正常に機能しない、の意）

眠気は薬が脳内に移行することによって起こりやすくなりますが、移行する割合と眠気の強さは必ずしも比例しません。一方、インペアード・パフォーマンスは脳内に薬が移行する割合に比例して起こります。そのため、薬が脳内に大量に移行しても、眠気は感じないが、インペアード・パフォーマンスは起こっているという危険な状態も起こり得ます。脳内に移行しやすい抗ヒスタミン薬では、眠気を感じていないときほど、インペアード・パフォーマンスに注意する必要があります。

とくに仕事や勉強に集中したいとき、危険な作業を行うときなど



は、医師に相談し、眠気はもちろん、インペアード・パフォーマンスが起こりにくい、脳内に移行しにくい抗ヒスタミン薬を処方してもらうことが大切です。

康生会武田病院 薬局
酒井 果林

ワンポイントフィットネス



認知機能の低下を防ぐ体操

近年、認知症有病率は急速に増加しています。65歳以上の高齢者の有病率は約15%で、認知症予備軍も約400万人いると推計されています。つまり、高齢者の4人に1人は認知症とその予備軍となります。

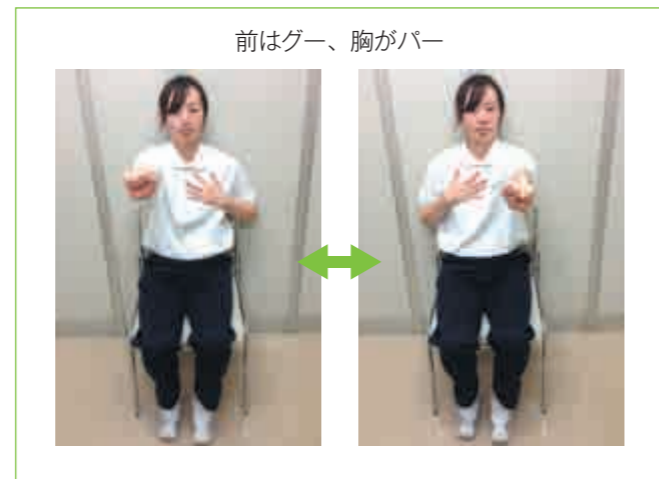
認知症の原因は様々ですが、運動は認知症予防の効果が証明されています。歩くことはもちろん、音楽に合わせた運動(社交ダ

ンスや太極拳など)やスポーツ種目が有用です。

認知機能の低下を防ぐためには脳を活発に動かすことが大切であり、自宅で可能な認知症予防体操を紹介します。グーパー体操は左右の違う動きを取り入れることで脳の活性化につながります。まずは左の体操を行い、できたら右の体操を行いましょう。この体操は左右の手を意識して動かすことがポイントです。

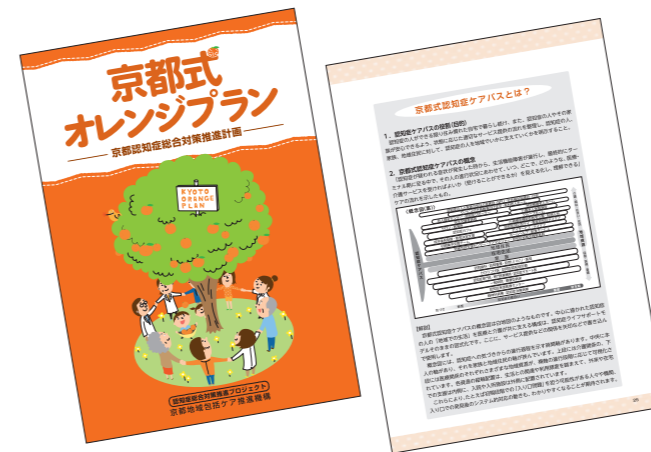
医仁会武田総合病院 疾病予防センター
健康運動指導士
濱田 友里

グーパー体操



交互に左右の手を入れ替えよう。慣れてきたら素早く動かしましょう。

京都認知症総合対策推進計画 京都式オレンジプランについて②



認知症または認知症の疑いの行方不明者数は、「年間9,607人」と報告されています(平成24年度警察庁調べ)。

これは行方不明者総数81,111人の11.8%を占めています。また最近では認知症の人が行方不明になり、山中や人目につきにくい場所で遺体で発見される等の悲惨な新聞報道を見かけることが多くなっています。

京都においても同様の状況であり、京都では京都式オレンジプランを作成し取り組んでいるところです。

このオレンジプランでは、前回記載した通り「8つの課題」と「課題に対する目標と手段の方向性」を提起しています。この計画で取り組む施策は、全ての施策のベースとなる「共通方策」と課題別の施策である「8つの個別方策」(表参照)により策定されています。

共通方策は、認知症の症状に応じた適切な医療と介護サービス提供の流れを見える化(京都式認知症ケアパス)や、医療と介護が一体となり、すべての「認知症の人の生活」を支援する体制の構築としています。

特に認知症の人が住み慣れた地域の中で生活していく上で重要なキーワードとなるのが【早期】という言葉です。本人や身近にい

共通方策

認知症の状態に応じた適切な医療と介護サービス提供の流れを見える化(京都式認知症ケアパス)、医療と介護が一体となり、すべての「認知症の人の生活」を支援する体制の構築

8つの個別方策

1. すべての人が認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり
2. 〈早期発見・早期鑑別診断・早期対応〉ができる体制づくり
3. とぎれない医療体制づくり
4. とぎれない介護サービス体制づくり
5. 地域での日常生活・家族支援の強化
6. 認知症ターミナルケアにおける対策
7. 医療資源の地域格差是正
8. 若年性認知症への対策

る家族・地域住民が早期に認知症に気づき、早期に鑑別診断を行い、診断に基づいた適切な医療・介護サービス等で早期に対応することが大切です。武田病院グループでは、認知症の可能性のある人の診断を行う為に、康生会武田病院等での「物忘れ外来」の実施や、認知症の人が地域で安心して生活していくための居場所づくりとして医仁会及びヴィラ山科清水焼団地センターで「認知症カフェ」の実施を予定しています。

また、認知症の人に対応できる医療・介護サービスとして、本年6月に、宇治市横島地区にグループで初めてとなる認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護と訪問看護の複合型サービス、居宅介護支援事業を開設予定としております。

認知症は国民1人ひとりが理解し、地域で支え安心して生活できる社会を目指すことを課題と捉える必要があります。

私たちグループにおいても様々な機会を通して支える役割を担っていかねばなりません。

社会福祉法人青谷福祉会
特別養護老人ホーム ヴィラ稲荷山
次長
市川 努



認定看護師の活動拡大を目指して

武田病院グループでは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を持ち、実践・指導・相談の役割を担う認定看護師の育成・支援を図ってきました。

現在、10分野、16人が5施設で活躍しています。

- ### グループ看護部方針
1. 認定看護師が連携・活動しやすい環境づくり
(組織横断的活動を可能にするしくみ、定例会の開催)
 2. 新たな認定看護師の育成・支援
(エキスパートナースの育成、認定看護師間の交流、支援)
 3. 武田病院グループ・地域への貢献の推進
(グループ内外の病院・施設での研修講師、相談)

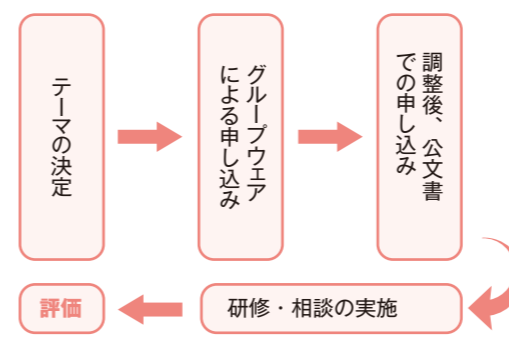
2013年9月、認定看護師の役割を通して相互の連絡・調整を密にすると共に、武田病院グループの看護の質向上を図ることを目的に、認定看護師連絡会が発足しました。

各人が活動の現況と今後の抱負を語り、情報共有をしました。

そして、まず、活動目標の1つである武田病院グループ関連施設への貢献・活動の場の拡大を図るため、研修・コンサルテーション依頼についてのしくみづくりに取り組みました。看護管理者会議での承認後、グループウェアを活用した運用を開始しました。研修内容や申し込み方法の確認が容易になったことで、現在、2014年度の研修申し込みは、グループ内27件、グループ外8件となっております。

今後は、専門分野別の活動内容や、指標を用いた看護ケアの質評価、病院間での口腔ケアについての検討など、活動の可視化にも努めてまいります。

研修・コンサルテーション依頼の手順



「認定看護師連絡会」の会議の様子

武田病院グループ
看護部人材センター
センター長
吉田 乃里子



病院見学や就職を希望される方、ブリッジの会の活動を詳しくお知りになりたい方は、下記、武田病院グループ看護部人材センターへご連絡、お問い合わせください。

TEL : 075-354-7117 FAX : 075-353-3839
e-mail:nurse@takedahp.or.jp
URL:http://takedahp.or.jp/nurse/

※ブリッジの会=武田病院グループの看護の魅力を伝えるプロジェクト

武田病院グループ認定看護師 活動内容

救急看護



● 渡邊 真理 ● 小谷 恵子 ● 小牛田 和美

様々な病態の患者さんとそのご家族を対象に、24時間体制で地域の二次救急医療を担っています。少ない情報から緊急度・重症度を判断し、急激な状態変化に即応することが救急看護に求められます。私たちは、根拠に基づいたより水準の高いケアを目指し活動しています。

集中ケア



● 大塚 直子

生命の危機に陥るような疾患を抱えた患者さんが身体的・精神的障害を最小限にとどめられるよう、合併症を起こすことなく早く回復できるように活動しています。活動の範囲は集中治療室から一般病棟におよび、他職種とも連携をはかり重症化の早期発見や予防に努めています。



● 小片 俊輔 ● 岸川 志穂



感染管理



● 加藤 恵子

ICT（感染対策チーム）と共同して、状況に合った効果的な感染管理プログラムの作成とサーベイランスを通して、対策の有効性を評価しています。院内すべての医療者が感染リスクの低減のために感染対策を推進できるよう各部門の調整を図り、相談や研修を行っています。

皮膚・排泄ケア



● 加藤 昌子



● 中本 美雪



● 香川 麻衣子

ストーマケアでは、オストメイトが持つ問題解決のための支援、慢性創傷（褥瘡、下腿潰瘍、瘻孔など）の局所ケアや全身管理を行なっています。「弱った皮膚を守り、健康な皮膚を保つ」予防的ケアを支援します。

がん性疼痛看護



● 村井 睦美

がんの痛みやがん性疼痛に用いる鎮痛薬とその薬理作用を理解し、一人一人にあった疼痛マネジメントとケアの実践に努めています。どのような状況においても、患者さんとご家族が意思決定できるよう寄り添い、がんと共に生きることができるよう看護の面からサポートします。

糖尿病看護



● 平田 直美

糖尿病患者さんは、食べ物を我慢することが辛い、わかっているけどつい食べてしまう、運動は難しいなど様々な気持ちを抱えています。患者さんの気持ちに寄り添い、セルフコントロールができるよう個々の生活様式に応じた支援を行なっています。

摂食・嚥下障害看護



● 田辺 美代子

加齢や疾病・治療による摂食・嚥下機能に障害をもつ人は、医療機関や介護施設、在宅など、さまざまな場所でより専門的で高度なケアを必要とされます。摂食・嚥下障害のある患者さんの口から食べたい思いを支援し、少しでも楽しく、そして安全に口から食べることへの援助を行っています。

脳卒中リハビリテーション看護



● 田中 沙智

脳卒中を発症された患者さんや家族が安心して治療に専念できるような心のケアや環境の調整、また患者さんの病態管理を十分に行いながら、早期からリハビリテーションおよび日常生活の動作を獲得するための支援を行っています。

慢性心不全看護



● 小笹 考史

心不全は慢性の進行性疾患で、患者さんのQOLを低下させます。心不全を悪化させる原因の多くは日常生活の中にあるので、患者さんとその原因を探しだし、どのように日常生活管理をしていけばよいのかを一緒に考えて、支援していく役割を果たしていきます。

緩和ケア



● 氏平 景子

生命を脅かす疾患を持つ患者とその家族に対して、症状コントロール(疼痛・呼吸困難・食欲不振・倦怠感・浮腫)や心理的・スピリチュアルな問題などについての相談や支援を行っています。

● 康生会武田病院 ● 医仁会武田総合病院 ● 宇治武田病院 ● 京都駅前武田透析クリニック

玄琢や鷹ヶ峰帯は、薬草の栽培地として近代医学への架け橋の役目とともに、豊穡の文化を今に伝えていきます。鎌倉時代から北陸丹後との物流の道として、江戸期には本阿弥光悦を中心とした芸術の村として花開かせました。玄琢の地名の由来となった江戸の名医・野間玄琢の医史跡を歩きます。



光悦寺(京都市北区)

鷹ヶ峰への急坂の登り口一帯は玄琢の地名で知られています。25歳で朝廷の禁裏医となった江戸初期の名医・野間玄琢が住んでいたのにちなみ、その名が残されました。玄琢は天正18(1590)年に京都で生まれ、戦国時代の名医・曲直瀬道三(まなせどうさん)の養子玄朔(けんさく)に師事、当時としては最新の漢方医学を修め、京都を中心に病む人々の治療に尽くしました。

元和元(1615)年には、江戸幕府から現在の玄琢の地を拝領。村を開き、医学堂を建てるとともに周囲の畑地帯で薬草を栽培するなど、江戸にまで名声が届き、寛永3(1626)年、徳川二代將軍秀忠に二条城で謁し、江戸に招かれて幕府の侍医となります。三代將軍家光にも仕えますが、その後、秀忠の五女で後水尾天皇の中宮となる東福門院(徳川和子)の治療のため京都に戻り、天ヶ峰、鷹ヶ峰、鷹ヶ峰の三山を望むこの地を「白雲溪」と自慢するなど、終生、愛し続けました。



本阿弥光悦木造(高村光雲作)

御所との関わりも密で、禁裏御官仕えとなるなど、数々の功績により「寿昌院」の号を賜り、僧位の「法印」となりました。また、白雲溪を訪れる文人との交流も多く、中でも光悦芸術村(現・光悦寺)の主・本阿弥光悦と親交が深く、書画は光悦に学んだといわれます。

玄琢の子、野間三竹(1608~1676)年も儒医として、父の医書『群方類稿』(全63巻)を編集するなど、野間家は代々幕府医官として仕え、幕末に至ります。玄琢は56歳で没。墓所は、常照寺のすぐ東の住宅地に囲まれて「野間玄琢廟所」の顕彰碑とともに、玄琢、その一族の墓碑が並んでいます。すぐ傍らには医の師である曲直瀬玄朔の墓もあります。



薬草園跡碑

玄琢の薬草園は、寛永年間(1640年前後)には御殿医の藤林家が管理経営、辛味大根、朝鮮人参、唐辛子などを栽培して幕府に納入。明治初年まで、東西80間、南北70間の薬草畑がありました。が、現在は鷹ヶ峰唐辛子、鷹ヶ峰ねぎなどが京野菜として栽培されています。



「野間玄琢廟所」の顕彰碑

醍醐コミュニティバスが運行10周年 医仁会武田総合病院が感謝状を授与される

今年2月、運行10周年を迎えた「醍醐コミュニティバス」の記念式典が、京都市伏見区の醍醐交流会館ホールで盛大に行われました。

当日はバスを利用する市民ら200名のほか、門川大作京都市長や、たけだ通信の正月号で寄稿いただいている仲田順和醍醐寺座主らが出席。地元の保育園児による和太鼓演奏や、小学生の合唱、中学生の吹奏、高校生のチャアリーディングで盛り上がりました。

同区東部を走る醍醐コミュニティバスは、地域住民が市民の会を立ち上げ、地域住民や地元企業(パートナーズ)からの寄付・支援により、全国初の「市民共同方式」のコミュニティバスとして大きな話題となりました。

路線や停留所は地域住民が専門家を交えて何度も検討し、運行は(株)ヤサカバスに委託しています。

当グループの医仁会武田総合病院も同バスを応援をしており、式典でパートナーズの代表として感謝状を授与されました。



グループを代表して感謝状を受け取る武田道子副理事長



編集後記

醍醐コミュニティバスは、「市民の足」として親しまれ、医仁会武田総合病院の患者さん・ご家族の多くが利用されています。当グループでは、医療・介護の提供だけでなく、このような地域と一体となった取り組みに積極的に参加し、住み良い地域づくりのお手伝いをさせていただきます。

「たけだ通信」編集室



<http://www.takedahp.or.jp/>

■編集委員/石田貴志・井上孝紀・今井 優・櫻本達也
勝山麻帆・小谷昌弘・小林啓治・土屋賀生
中田夏南子・西村正樹・水野孝子・水口善夫
山田佳之

たけだ [第104号]

- 発行人/武田隆男
- 発行所/京都市下京区塩小路通西洞院東入ル
医療法人財団康生会武田病院
TEL 075-361-1351(代)
- 編集人/「たけだ通信」編集室
- 発行日/平成26年4月1日
- 制作/(株)日本医療企画

